

個別事業名	(2)官民協働による出会いと子育て応援フェア等の開催
事業の趣旨・目的	<p>○本県ではH20年から、保健福祉・医療・幼稚保育・教育・経済労働・産業・報道関係など33団体で構成する「少子化対策推進県民会議」を設立し、少子化対策に対する県民の理解を深め、地域全体が結婚や子育てを応援する気運の醸成に向けて、子育て応援フォーラムなどを開催してきたが、県民や企業など幅広い層への拡がりが見られない現状にある。</p> <p>○H26交付金を活用し、新たに「出会い・結婚・妊娠・出産・子育て」の全ステージを一体的に応援するフェアを開催し、参加対象を結婚前の世代、子育て家庭を見守る高齢者世代等も含めた全世代に拡大し、体験型のブースに加えライフステージごとのブース等を開催することで、より多くの県民や団体に、子育ての楽しさや家庭を持つことの大切さなどを啓発を行った。</p> <p>○また、フェアの開催に向けて、出会いから子育てまで一体的な県民運動を推進するため、組織体制の見直し・強化を図ったことに加えて、新たな部会において、全体の構成やイベント、参加団体など、フェアの具体的な開催内容を検討し、出会いや結婚応援に関しては、出張応援コーナー（結婚支援等相談）や、ブライダル相談コーナーやカップルで楽しむフラワーアレンジメントなどの独身者を呼び込むためのブース展開としたが独身者の参加は少なく、独身者が楽しめるイベントとする必要があるなどの課題が残った。</p> <p>○今回の課題を活かす事業を行うことで、切れ目ない支援の取組を効果的に進める。</p> <p><26年度の状況> ○来場者：(H25)2,011人→3,079人 ○出展・協力団体：(会議) (H25)6団体→14団体、(一般) (H25)10団体→15団体</p>
継続の理由	<p>フェア開催に向けた部会での協議や開催への出店・協力により、団体間の連携が少しずつ進み、約半分の団体が何らかの形での協力を得られた。また、参画団体以外の企業や団体、大学などの子育ての取組などに意識の高い団体等の協力も増えた。来場者数においても一定の成果は上がったと団体内での認識はあるが、まだまだ、団体間の取組や認識の温度差はあり、まずは、団体の意識を高めること、団体間のネットワークを強化することを目的としてフェアを継続して行く。</p> <p>また、今回の成功事例を分析し、より効果のある取組やイベントを確立していくため、今年度の課題や反省点を活かすよう、部会での協議を重ね、フェアを開催する。</p>
事業内容	<p>1 少子化対策推進県民運動フェアの開催（委託） 今年度、多くの子育て世帯に来場していただいたが、未婚の若い世代や中高年層の参加が少なかったため、より多くの世代に働きかける工夫を取り入れ、新規事業として事業展開を行う。</p> <p><継続・拡大イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民会議の団体、民間企業、地域の団体、大学等の多くの団体との連携イベント ・県事業、県民会議の団体や企業の取組、子育てサークル等の地域の活動を紹介 ・看護協会・助産師会による妊娠・出産・子育て体験・相談コーナー ・出会い・結婚・子育て応援コーナーの出張相談、女性しごと応援室出張コーナー（婚活サポーターとタイアップした応援コーナーの窓口PRも兼ねた出張相談） <p><新規イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活サポーター事業紹介・相談会開催（対象：若い世代・独身者） （独身男女各30名以上を募集して開催する、コミュニケーション力等のスキルアップを目指す2時間程度の講座を実施） ※県主催及び県補助金を活用して実施する婚活講座については、1時間を超えるじっくりと独身者のスキルアップを図る講座は、高知市以外で開催をしたことがないため、フェア会場（別棟）で開催する。 ・独身者婚活講座の同時開催（対象：若い世代・独身者） （多くの婚活サポーター（ボランティア）に協力により、サポーター事業を知りたい方やサポーターに結婚のことなどについて相談してみたい方、また、サポーターに登録しているが、じっくりと今後のことを相談したい相談者などの交流の場を設置） ・健康チェック（対象：若い世代・独身者や子育て世代を含む全世代） <p>2 県民参加事業（作品の募集・表彰）の実施（委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真コンテスト開催（4カ月前からフェアの告知や県民運動紹介を兼ねて実施） 想定テーマ：「出会い・結婚・妊娠・出産・子育て、家族」や「職場(学校)、家庭、地域」「家族のキャラ弁写真コンテスト」など <p><今後の取組> 33の参画団体のネットワークが強化され、全ての団体が何らかの形で参加（出展・協力）し、団体の取組みについて県民に周知を図り、子育ての機運の醸成につなげるために、フェアを開催する。</p>
先駆性	<p>出会いから子育てまでの全ライフステージを対象に幅広い世代に啓発し、県民会議を構成する各団体が連携した取組を主体的に行うことは初めての試みであり、全国的には「子育て応援」「婚活」といったフォーラムが一般的である中、子育て家庭や独身者に止まらない多くの世代を呼び込み、各世代間や参加団体間の相互交流を図ることを目的としたフェアの開催は、先駆的な取組みと考えられる。また、月1回程度（年10回程度開催）の部会を開催し、フェアなどの取組みについて検討することで、部会員としての認識や団体間の連携や一体感が強化される。</p>
所要見込額	8,836 千円